

◆ 今週のコメント

- ・ アメーバ赤痢の報告が1例あり、累積報告数は8例です。累積報告数の内訳は、性別では、すべて男性、病型別では、腸管アメーバ症7例、腸管及び腸管外アメーバ症1例、推定感染地域では、国内6例、国外(エジプト、インド)2例、推定感染経路では、性的接触3例、経口感染2例、不明3例です。
- ・ 感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、8.54で、本年度で最も多く、過去5年平均値(6.61)を上回っています。年齢階級別では、1歳が1.83(21.4%)で最も多くなっています。全国の定点当たり報告数は、8.57で、過去5年平均値(6.45)を上回っています。
- ・ 百日咳の報告が、1例(男性、0～5ヶ月)あり、5週続けて報告があります。本年度の累積報告数は、6例で、年齢階級別の内訳は、0～5ヶ月が1例、6～11ヶ月及び1歳が各2例、8歳が1例ですが、昨年1年間では、20歳以上が、55例中17例(30.9%)ありました。

◆ 今週のトピックス: <インフルエンザ>

第17週(4月20日～4月26日)の季節性インフルエンザの定点当たり報告数は1.10(75例)で、過去5年平均値(0.59)を上回っており、季節性インフルエンザの流行は、まだ終息していません。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数報告の感染症

- ・ 二類: 結核 2例(肺結核 2例, 肺外結核 なし, 無症状病原体保有者 なし), (喀痰塗抹陽性 2例)
 【1月以降の累積報告数 119例(肺結核 86例, 肺外結核 24例, 無症状病原体保有者 9例), (喀痰塗抹陽性 40例)】
- ・ 五類: アメーバ赤痢(腸管アメーバ症) 1例【1月以降の累積報告数 8例】

定点報告の主な感染

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

| 定点 | 感染症名 | 定点当たり報告数 | 報告数 |
|-----------------|-----------------|----------|-----|
| インフルエンザ | インフルエンザ | 1.10 | 75 |
| 小児科 (降順5位まで) | ① 感染性胃腸炎 | 8.54 | 350 |
| | ② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 0.83 | 34 |
| | ② 水痘 | 0.83 | 34 |
| | ④ 突発性発しん | 0.39 | 16 |
| | ⑤ 流行性耳下腺炎 | 0.22 | 9 |
| 眼科 | 流行性角結膜炎 | 0.20 | 2 |

病原体情報

ありません。

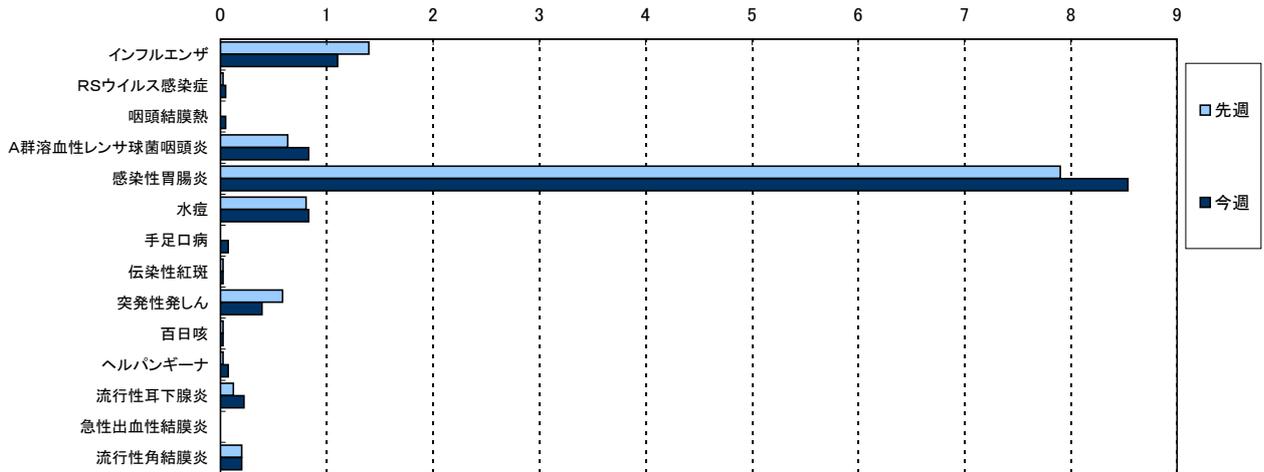
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <インフルエンザ>

(注) 京都市のデータは、平成21年5月7日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
 また、本情報での患者数は、届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。
 病原体情報は、病原体定点等から京都市衛生公害研究所へ搬入された検体から検出された病原体です。

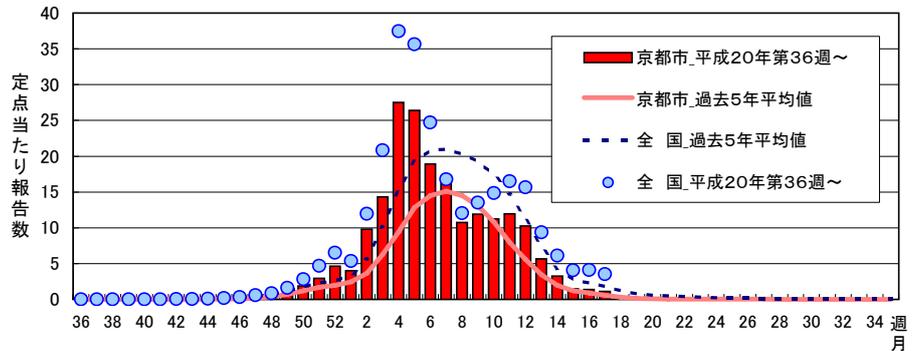
◆ 発生状況の概況グラフ

1 今週(第17週)と先週(第16週)の定点当たり報告数の比較



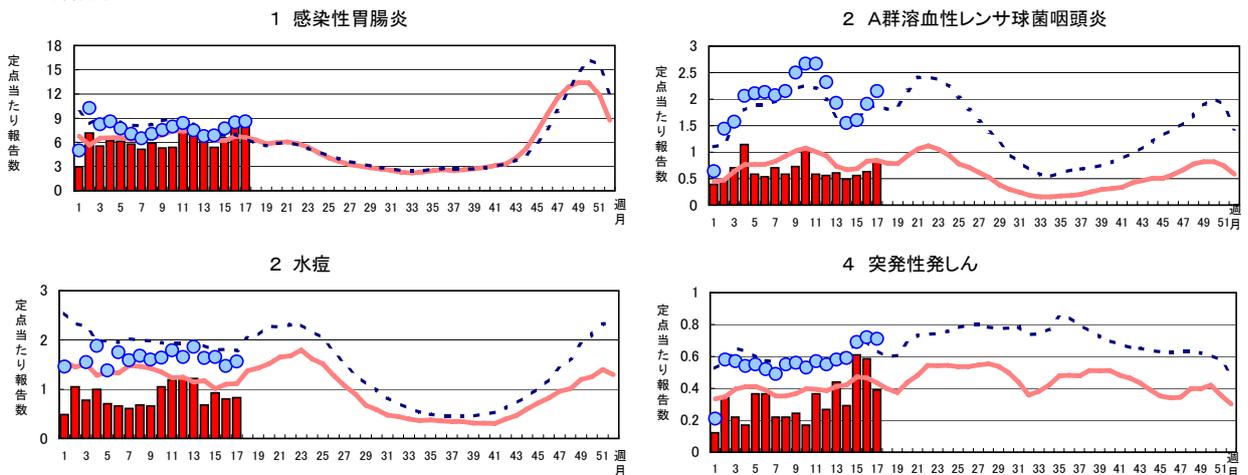
2 インフルエンザの推移

| 週 | 報告数(例) |
|-------------------|--------|
| 第13週 | 385 |
| 第14週 | 232 |
| 第15週 | 101 |
| 第16週 | 95 |
| 第17週 | 75 |
| 累積報告数 (第36週以降) | 13426 |

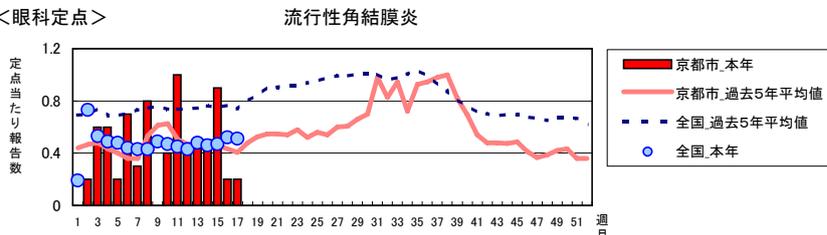


3 主な感染症(小児科)の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>



今週(第17週)のトピックス: <インフルエンザ>

第17週(4月20日～4月26日)の季節性インフルエンザの定点当たり報告数は1.10(75例)で、過去5年平均値(0.59)を上回っており、季節性インフルエンザの流行は、まだ終息していません。

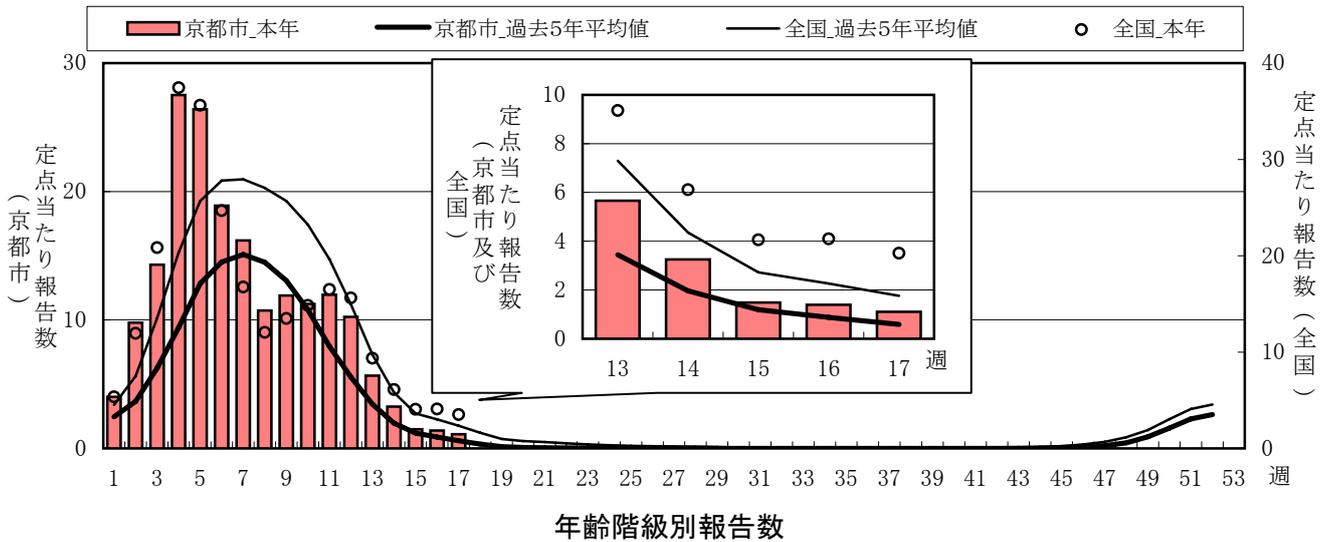
週推移をみると、第15週以降、ゆるやかな減少となっています。また、全国では、第15週から定点当たり報告数が4.0前後で推移しています。

年齢階級別にみると、本市及び全国とも、5～9歳が最も多くなっています。また、次いで多いのは、本市では、0～4歳、20歳代の順で、全国では、10～14歳、0～4歳の順となっています。

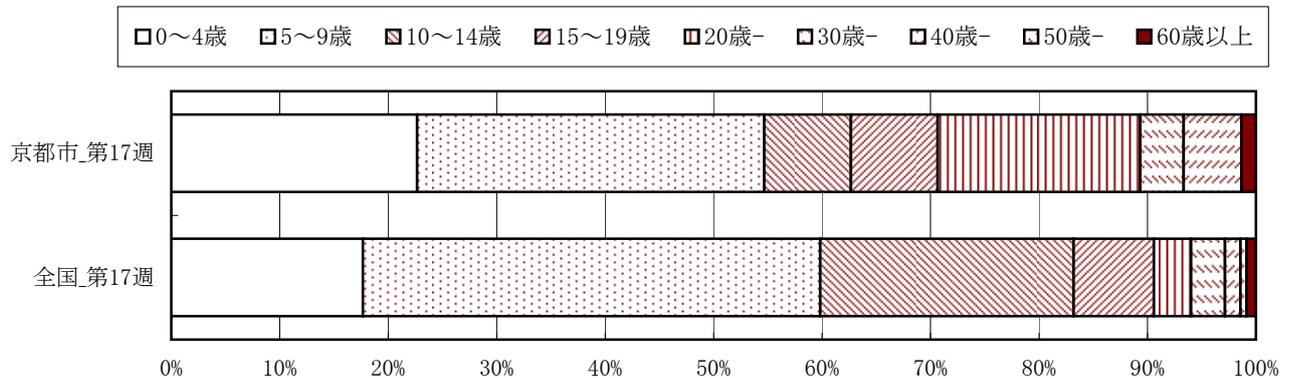
行政区別定点当たり報告数をみると、過去5年平均値を上回っているのは、11行政区中8行政区となっています。

4月24日、メキシコでヒトへの新型インフルエンザ(豚由来インフルエンザA/H1N1)の感染が報道されました。今後、新型インフルエンザを疑う症例を診察された場合は、速やかに所轄の保健所に御連絡いただきますようお願いいたします。新型インフルエンザの症例定義は、国立感染症研究所のホームページなどを御参照ください。

本市及び全国の定点当たり報告数の推移



年齢階級別報告数



行政区別報告数

